

2020年度 第2回
北栄町社会教育委員会・公民館運営審議会 会議録

開催期日	2020年11月19日(木)			
開催場所	北栄町立大栄中学校 1階 会議室			
開催時刻	午前10時20分			
出席委員 (10人中8人)	山本 洋介	萬 章夫	坂本 三都	西村 ひろみ
	吉田 元信	三村 章雄	清水 武	玉木 純一
事務局出席者(9人)	別本教育長	杉本課長	牧本参事	前田室長
	松尾室長	岡崎館長	磯江館長	中江館長
	松浦 CS ディレクター			
書記	塚根			
聴講	(大栄中学校) 河原校長、足羽教諭、秋山地域コーディネーター			
1 開会	事務局杉本課長の司会進行で開会			
2 あいさつ	<p>◆三村委員長によるあいさつ</p> <p>10月7日に県の社会教育振興大会兼鳥取県社会教育委員研修会が行われました。県内4箇所の会場で、オンデマンド方式をとり、講師を勤める滋賀大学の神部教授がリモートで参加されました。北栄町からは、4名が参加しました。講演の内容は、「地域への愛着を育む社会教育のあり方」として、多数の人材が活躍できる地域づくりや地域の愛着を持てる環境づくりを目指すために、地域再生を図ることの重要性について話されました。その地域再生を図るために、地域にある自然や歴史、文化等を再発見し、魅力を伝えていく活動が紹介され、情報を多くの住民に発信し、大切にしながら愛着を深めていくことが重要という内容でした。</p> <p>社会教育委員の研修会では、神部教授から「行動する社会教育委員を目指して」という講義がありました。社会教育委員の活動は、住民に学びきっかけを与え、思いを共有し、興味を持たせて、学ぶ心や人を作ります。さらに、その人たちが実践していくことで、地域を愛する思いが育っていくことを話されました。また、PTAの活動を終えても継続して関わっている方をはじめ、歳を重ねながら様々な地域の活動に参加している熱意を持った方の話もされました。</p>			
3 定足数の確認	委員10名中8人が出席。半数以上の出席者があることを確認し、公民館条例施行規則第4条により会議が成立することを報告。			
4 議事録署名員指名	委員長の指名により、山本委員が議事録署名委員となる。			
5 協議・報告事項	(1)研修報告(資料P.1~2)			
玉木委員	<p>地域学や地元学が必要だと感じました。知るだけで終わるのではなく、参加者同士でコミュニケーションを図り、仲間づくりをしながら、学ぶことを通して行動していく組織づくりが大事だと痛感しました。また、社会教育委員として、行動していくことが大事だと改めて感じたので、今後の自分の課題としてしっかりとやっていきたいです。</p>			
清水委員	<p>午前中は、講師の方が地域において参考となる事例を示されました。午後からは、参加者がディスカッションを通して、どういったことをやっていくかを深め、勉強しました。講演については、神部教授が提唱する地域学・地元学から、地元を知るとして、地域にどういった歴史や自然、文化があるのかを掘上げていき、みんなで考え学んでいくことを言われました。さらに、自分の地域を知り、愛着を持つことを通し、仲間と絆を深めることを繰り返し行っていくことで、生涯学習のまちづくりが進んでいくことも言われました。今後の課題として、少人数の参加では、影響力が小さいため、新しいグループで繰り返し行っていく工夫も必要と感じました。</p> <p>北栄町の場合でも、歴史に関するものや地域の特色等々の学習項目があり、グルーピングや横串を刺すことで、簡単ではないですが「北栄学」ができると感じました。また、子どもを取り込む工夫をすれば、コミュニティ・スクールにもつながると感じます。これを実現するためには、強力なリーダーシップを取る者が必要となり、よそ者やとことんやり抜くばか者、若者という人材を見つけていくことが必要です。</p> <p>委員研修では、学ぶこと、話すこと、伝えることを意識付けさせる内容でした。回を重ねる中で、行動しなさいと尻を叩かれているように感じるので、みなさんも研修会に参加して影響を受け、感化されてほしいです。</p>			

坂本委員	<p>グループディスカッションの際に、社会教育委員の知名度が低い地域が多いという話がありました。社会教育委員が一生懸命活動している地域では、専用の名刺等があり、こういったことが社会教育委員としての自覚となり、パイプ役として大きな力になるという声もありました。北栄町内においても、社会教育委員を知っている人が少ないと思うので、そういったことも必要かなと思いました。</p>
三村委員長	<p>目の前に講師がいるのではなく、今回のように画面に講師が写るのもいいと感じました。また、データもスムーズに表示され、このような研修方法もいいと感じました。</p>
	(2)(3)2020年度主な事業の中間報告(資料P.3～21)
前田室長	<p>◆生涯学習課 文化・スポーツ推進室(資料P.8～10) 【2020年度特徴的な事業や取組み(新規事業・例年とは違う取組みなど)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活アンケート 3年に1度実施している生活アンケートを、7月にこども園に入所している2歳児から中学生を対象に、こども園と学校の協力を得て実施 ～生活アンケートの結果について～ 就寝時間については、小学校3～6年生を除くと、どの年代も遅くなっていることがわかりました。起床時間については、7時まで起きる子どもが増えたり、7時半以降まで寝ている子どもが増えたりと、3年前とは多様な形で変わってきていることがわかります。今回、初めてスマートフォンに関する事項も設けました。こども園は、2歳児においても、半分くらいの子どもがスマートフォンを見ていることがわかりました。スマートフォンの所持については、小学校3年生～中学校の児童・生徒を対象に伺いました。小学校3～6年生までの児童が20%、中学生については50%の生徒が自分専用のスマートフォンを持っており、持っている子どもと持っていない子どもで、時間の使い方も大きく変わってきていることがわかりました。アンケートをとって終わりではなく、このアンケートをどう活かしていくかを検討したいと思います。私たちの気になる項目である家庭教育12か条については、残念ながら認知度が下がっていることがわかりました。朝の元気配達便を実施して、工夫しているつもりではいたしましたが、目新しさがなくマンネリ化していると感じています。今年度から、教育委員の方や認知度を上げることも兼ねて社会教育委員の方等、子どもだけでなく色々な人に参加していただき、広めていくことを考えています。 ・通学合宿の中止 今年度で3年目となる事業であり、1年目は北栄地区だけでの実施でしたが、前年度は北条地区でも開催し、これからという時でした。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、学校の春先の事業が秋に移動したこと、入浴施設の利用が難しいことから実施を断念しました。来年度についても、新型コロナウイルス感染症の影響が全く無くなることはないと思うので、町外の入浴施設の利用も検討し、実施したいと考えています。 ・北栄町文化財保存活用地域計画の作成 北栄町文化財保存活用地域計画の作成に向け、11月7日にワークショップを開催し、北栄町の地域財産について語る場を設けました。今後、1月にパブリックコメントの実施も予定しています。 ・六尾反射炉跡地の試掘調査の実施 危険家屋の撤去に伴い試掘調査を実施しました。来年度、詳細な調査を実施する予定です。 ・北栄文化回廊の実施 毎年11月3日～11月15日までをメイン期間として実施し、11月15日に齋尾家住宅の限定公開とフラワーアレンジメント教室を実施しました。11月22日に北条砂丘太鼓と鳥取中央育英高等学校の書道パフォーマンスの公開収録を予定しています。本来は、ふるさと祭りで実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響から実施ができなくなりましたことを受け、見ていただける場を作るため、公開収録を計画しています。 ・満天☆星空ウオークの実施 第33回すいか・ながいも健康マラソン大会中止の替わりではないですが、10月3日に新型コロナウイルス感染症に負けない強い体づくりをしようということで実施しました。参加定員200人に対して、200人の参加があり、運営は少し大変でしたが、参加者から本当に良かった

	<p>たという声をいただき、好評な企画だったと思います。</p> <p>・生涯学習課の関連施設の Wi-fi 整備 新型コロナウイルス感染症関連の事業として、生涯学習関連施設の Wi-fi 設置を進めており、オンライン講座やタブレット講座の開催を考えています。</p> <p>【2021 年度事業計画について(予定)】</p> <p>・通学合宿 大栄と北条を 1 箇所で開催する形でも良いので、3 泊 4 日での実施を考えていきます。</p>
前田室長	<p>・地域拠点化事業(第三の居場所事業) まだ検討段階ですが、社会的自立が難しい家庭に対して、学校や家ではない第三の居場所づくりの検討を始めています。</p>
前田室長	<p>◆北栄スポーツクラブ(資料 P.11~12) 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けました。4 月と 5 月は中止となった事業が多く、今後実施するバレーボール大会やバドミントン大会も縮小という形で行います。新型コロナウイルス感染症のガイドラインに沿い、できる形を検討する中で、バレーボール大会については、女子と男子で分けていたものを、男子をベースに男女混合という形で実施します。バドミントン大会については、各自治会から 1 チームの出場とし、密にならないよう、工夫して実施します。1 月に実施を予定する卓球大会については、ガイドラインに沿った形での実施は難しいため、中止を決定しました。</p>
松尾室長	<p>◆生涯学習課 人権教育推進室(資料 P.13~14) 【2020 年度特徴的な事業や取組み(新規事業・例年とは違う取組みなど)】</p> <p>・部落差別解消推進法を踏まえた条例制定 部落差別解消条例と犯罪被害者等支援条例について、人権を尊重するまちづくり審議会を 2 回開催し、制定に向けて活動しています。12 月にパブリックコメントを実施し、来年 4 月に施行予定です。</p> <p>・ネットモニタリング事業 今年度から、部落差別解消条例に関係し、インターネット上での差別活動の監視の準備を進めています。具体的には、ほくほくプラザでインターネット環境の整備として、差別書き込みの監視・削除を行っています。</p> <p>・小学生への学習支援事業 6 月からほくほくプラザにて、生活困窮世帯の小学校 4 年生~6 年生の児童を対象に、土曜日の午前中に実施しています。4 年生が 3 人、5 年生が 2 人、6 年生は 1 人の計 6 人が参加しています。20 回の学習支援事業を実施しており、先日それぞれの能力に応じた漢字検定にチャレンジしていただきました。</p> <p>・高齢者への居場所づくり事業 事業内容としては、ほくほくプラザの成人以上の利用者が少ないことから、親しみやすい施設となるために、特に高齢者の居場所づくりとして町内の社会福祉法人利用者が、ほくほくプラザに集まり相互に交流するイベントを実施します。福祉課と社会福祉協議会の支え合い事業の一環として話を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で話し合いがストップしている状況です。</p> <p>・人権を学ぶ会 他の市町村において学習会の実施がなされない中で、北栄町では実施をしました。63 自治会のうち、44 の自治会で現在開催中です。</p> <p>・3 町合同宣言 新型コロナウイルス感染症に関する人権侵害が社会問題となっていることから、琴浦町・湯梨浜町・北栄町で実施しました。</p> <p>【2021 年度事業計画について(予定)】</p> <p>・部落差別解消条例、犯罪被害者等支援条例に係る広報等</p>

	<p>・小中学校での「ほくほくプラザを知る取組み」 部落問題学習の共通教材化を検討していきます。部落差別解消条例において、教育啓発の充実を掲げており、今後学校の人権教育主任の方とともに進めていきます。</p> <p>・SDGs の理念を踏まえた隣保館・児童館活動の充実 (SDGs 推進の取組み) SDGs の誰一人取り残さないというのは、人権尊重に通ずる理念だと考えます。ほくほくプラザを SDGs の推進において町のシンボルとなるように、様々な事業を考えていきたいです。</p>
岡崎館長	<p>◆中央公民館(資料 P.15~16) 【2020 年度特徴的な事業や取組み(新規事業・例年とは違う取組みなど)】</p> <p>・ふるさとかるたの作成 読み札 44 枚の作成において、小中学生と高校生に募集を掛けました。新型コロナウイルス感染症の影響で、学校が休校となり、スケジュールもタイトになっていたため、応募も少ないことを予想し、事務局や川柳教室等が参加し作成することも検討した方がいいという話も出ていました。蓋を開けてみると、応募総数が 138 名、作品総数が 398 品あり、小中高生からは 124 名、223 作品の応募がありました。応募のあった読み札を 2 回の選考委員会で選ばせていただき、12 月の町報で採用された読み札を公表します。 絵札についても、当初は、中学校の美術部や絵手紙教室の方々への依頼を考えていましたが、大栄小学校と北条小学校のイラスト教室から 32 作品の協力がありました。また、鳥取中央育英高等学校からの協力の依頼もあり、町内の小中高生が中心になって作成することが出来ています。2 月の完成を目指しています。</p> <p>・公民館の管理運営 4/18~5/6 まで休館としました。色々な活動がある中で、家族からの参加しない方がいいという声や人が集まる場に出ることが難しいという状況から公民館利用者が減ってしまいました。シニアクラブや自然体験等は、地元の人と相談しながら中止を決定しましたが、成人対象講座や民芸実習講座は、ほぼ予定取り実施しています。</p> <p>・展示・発表・観賞事業 11/3~11/15 まで第 16 回美術展を実施しました。今後、公民館まつりを 1/30~2/7 まで実施する予定ですが、作品展示については、昨年とやり方を変えて、密にならないように実施します。ふれあい芸能発表会は、声を出したり、歌ったりする事業を中止し、半日での実施を計画しています。</p> <p>・団体等の育成と拡充 文化団体への補助金事業がありますが、新型コロナウイルス感染症の影響から、練習をしても発表する場がないという状況があります。しかし、自分たちで対策を取りながら公民館で発表会を開くといった新しい活動が生まれ、その様子がケーブルテレビで紹介されました。</p> <p>【2021 年度事業計画について(予定)】</p> <p>・ふるさとかるたの活用 かるた大会を計画する他、かるたに書かれている場所に訪れたり、自然に触れたりする企画を考えたいです。</p>
磯江館長	<p>◆中央公民館大栄分館(資料 P.17~19) 【2020 年度特徴的な事業や取組み(新規事業・例年とは違う取組みなど)】 だいたい予定通りの事業ができていますが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった事業もあります。子どもほくえい塾の活動は、ほとんど出来ています。夏休みの終わりに子どもミュージカル公演を開催しました。夏休みの短期間に集められた子ども達が、ミュージカルを体験する企画です。仕上がりの評価は色々ありましたが、子ども達が頑張って発表できたことは大きな成果だと思います。来年度も、子どもほくえい塾を中心に様々な行事を行っていきます。</p>
	<p>◆図書館(資料 P.20~21) 【2020 年度特徴的な事業や取組み(新規事業・例年とは違う取組みなど)】 中央公民館と同様に、4 月下旬から 5 月上旬まで、新型コロナウイルス感染症の影響から休館を余儀なくされました。再開後は、感染症対策行いながらできることをできる限りやる姿勢で事業を進めています。</p>

	<p>・「今こそ絵本を！」推進事業 絵本のすすめ講座 3つの対象別に行っており、親子編は、11月8日の図書館まつりの中で、ワークショップを実施し中学生編は、12月3日に大栄中学校と北条中学校の1年生を対象に開催する予定です。一般編は、10月11日に柳田邦男先生を招き、大栄農村環境改善センターにて実施しました。いずれも感染症対策として、定員を設け、事前申込制にしています。</p> <p>・図書館まつり 読み聞かせや源氏物語の特別講座など様々な講座やイベントを実施しました。来館者には、事前申込を行い、当日の受付でも検温や消毒を徹底していただきました。2日間の来館者数は、本館で473人、北条分室で116人でした。11月8日に郷土史入門講座として、地元の梅津酒造の社長に「みんなの知らない日本酒の秘密」というテーマでお話しをいただきました。社長は、現在28歳で、小学校卒業後に東京の学校に進学され、大学卒業後は、県外で酒造りの修行を5年間行い、Uターンされたという経歴です。地元の酒蔵として、日本酒の知識をお話しいただいた他、郷土史入門講座という意味をよく考えていただき、郷土を愛する心や地元の米を使う等、地元の人とのつながりを持ちながら酒造りをしている事例を報告していただきました。地域に根ざした酒蔵としての誇りや郷土愛を強く感じました。お若いこともあり、今後キャリア教育として、中学生や高校生にも話を聞いてほしい人材です。</p>
磯江館長	<p>・その他の事業 8月くらいまでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、思うように事業を開催することができず、中止した事業があります。テーマ別の展示については、時期に応じて必要となるテーマを特集するようにし、新型コロナウイルス感染症関連や免疫力を高める特集を継続して実施する他、図書館まつりの前には、イベントに応じた特集を行いました。 来館者数は、外出自粛が続いたこともあり、減少していますが、貸出冊数は多い傾向にあります。分析すると、一度に借りる冊数が増えていることもありますが、こんな時だからこそ本を読むという習慣がどこかにあるのではないかと思います。そのため、図書館まつりにおいても、こんな時だからこそ読んでほしい本のコーナーを設けています。</p> <p>【2021年度事業計画について(予定)】 ・「今こそ絵本を！」推進事業 この事業は、柳田邦男先生の講演をきっかけに、絵本の素晴らしさを広く普及・啓発していくものです。以前から取組んでいたブックスタート等の事業も、この事業の中に含まれています。しかし、システムティックに事業が構築されていないので、3つの事業内容に再構築し、効果的にそれぞれの事業を実施していきたいです。 1つ目の絵本のすすめ講座は、3つの対象ごとに講座・講演会等を実施します。2つ目の赤ちゃん事業は、ブックスタートとマタニティ・ファーストブックです。マタニティ・ファーストブックは、母子手帳交付時に引換券を渡し、お腹の中に赤ちゃんがいる時から読み聞かせが必要ということを啓発しています。3つ目の普及・啓発として、館内外で読み聞かせ事業を実施する中で、高齢者の方には音読を勧めて、脳の活性化を促す効果を普及・啓発していきます。その他にも、町報では、町長がおすすめの絵本を紹介し、図書館だよりでも様々な絵本の良さを普及・啓発していきます。これらをいつ・どこで・誰に・どのように働きかけていかをしっかりと整理し、効果的に実施していきたいです。</p> <p>・司書研修 町内の学校全てに司書が配置されており、情報交換や相互の連携を図るために司書の研修を設けていますが、年度内においてもしっかりと資質向上に繋がる研修を実施していきたいです。</p>
三村委員長	各事業への質問・・・なし
三村委員長	<p>コロナ渦において、色々な工夫を図りながら事業を実施しておられますが、来年も同じような傾向になると思います。今後、新型コロナウイルス感染症が収束した後に、以前のように活発な意識を持った人が少なく、感心が薄れたままにならないように考えて対応していただきたいです。</p>
	(4)コミュニティ・スクール事業について(資料 P.22～23)
前田室長	<p>現在、大栄中学校が先行してコミュニティ・スクールを設置されました。来年度は、大栄中学校区と北条中学校区でコミュニティ・スクールが設置される予定です。現在の状況を知っていただき、社会教育委員の方に核になっていただきたいと思う一方、何をしたらいいか曖昧な部分が多いと思います。そのため、後ほど先進地である山口県の取組みをまとめたDVDを見ていただきたいと思います。</p>

松浦 CS ディレクター	<p>3月に大栄中学校がコミュニティ・スクールの取組みをスタートしましたが、さあやるぞという時に新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の方々の力を借りることができないという状況でした。今後の大栄小中学校校区については、大栄中学校の活動に大栄小学校が合流し、小中学校区の学校運営協議会を設置する予定です。北条小中学校区では、現在2回の準備委員会を実施し3月末に小中校区学校運営協議会を設置する予定です。大栄中学校では、新型コロナウイルス感染症の影響で、色々と方法を模索しながらスタートしましたが、コミュニティ・スクール元年ということで大討論会の実施やマスコットキャラクターの作成等を行っています。</p> <p>全体の考え方として、地域とともにある学校作りとして、学校教育に地域の方々の力をお借りし、一緒になって子どもたちを育てることを目指しています。県大会の報告でもあったように、子どもの時に地域を愛する経験があると、大人になっても地域を愛する大人になると思います。しかし、地域の力を借りないと育ちにくいこともあるので、そういった意味でもコミュニティ・スクールの活動を考えていきたいです。子ども達の教育は学校教育、大人たちの教育は社会教育のイメージが定着しているように感じます。中には、社会教育委員会とは何？ということもあるので、本日のように学校で会を開催することはとてもいいことだと思います。学校現場を離れてみると、何となく学校の敷居が高いことを感じるのので、学校をどんどん公開していくことが重要だと思います。</p>
河原校長	<p>社会教育委員研修会の感想にある「緑豊かな大地を育むためには、やはり地面を耕し、種をまき、出てきた芽を大切に育てていく、そんな地道な取り組みが求められる」、「地域の活性化のためには、将来を担う子ども等、多様な人材を育てていく必要がある」と、「子どもを取り込む工夫をすればコミュニティ・スクールにつながる」は、まさにその通りだと思います。</p>
河原校長	<p>大栄中学校は、コミュニティ・スクール元年として取組んでいます。コミュニティ・スクールとは、学校と保護者、地域が協働して子ども達を育てていきたいと思います。しかし、地域とのつながりを作ることは、非常に難しいことです。学校の敷居が高いことを感じていることから、社会教育委員会を大栄中学校で開催することになりました。</p> <p>私は、学校教育と社会教育を共存させれば良いと考えています。大栄中学校は、駐車場が広く、武道館や調理室、図書室、パソコンルーム、技術室があり、武道館の入口付近にはコミュニティ・スクールルームもあります。色々な場所で行われている事業を学校で行い、地域の方にどんどん入ってきてもらいます。活動が終われば、授業を見て、近所の子どもが頑張る姿を見ていただきたいです。見られることにより、子どもも教員も頑張ります。子どもたちも、知っているおじさんやおばさんが活動する様子を見に行ってもいいと思います。学校は、地域で行われている行事の情報がほしいので、地域のみなさんには、活動後にお茶でも飲んでいただき、地域の情報がどんどん入ってくるようにします。現在も、地域で行われる行事がわかれば、生徒玄関の大型モニターで情報発信しています。このように、学校教育と社会教育が共存し、地域とつながり、みんなで子ども達を育てていくことで、地域が活性化すると思います。是非、実現できればと思います。例えば、教養文化教室やおしゃべりサロン、料理教室、陶芸教室等できることであれば学校で実施していただくことで、お互いにWin-Winになるのではないかと思います。</p>
足羽教諭	<p>・大栄中ゆるキャラ総選挙 地域と学校をつなぐキャラクターを作るというコンセプトです。学校を身近な存在に感じてもらうために、保護者や地域の方からアイデアを募り、小学校と中学校、地域で総選挙を実施しました。熊本県のくまもんを製作した企業に発注し、本格的なものことができました。声を掛けていただければ、ボランティア活動やまつり等に中学生と一緒に参加しますので、よろしくをお願いします。</p> <p>・大栄中白熱大討論会 11月に生徒と教員をはじめ、保護者や地域の人々に参加していただき、北栄町の未来や学校の校則について議論しました。生徒から、「北栄町の大人たちは真剣に考えてくれて幸せだな」という感想があり、いい会になったと思います。</p> <p>・大栄中ハローワーク 生徒玄関前にモニターを設置し、地域からの声やボランティアの募集等を掲示するようにしています。生徒が参加できるような事業があれば、学校に連絡をいただき、そこに掲示して、生徒が地域に出て行くような流れを作りたいと思います。</p>
	◆DVD 視聴

	(5)その他
前田室長	<p>・成年年齢の引き下げに伴う北栄町成人式の開催方針について 北栄町の成人式を検討していましたが、10月28日に開催された第10回定例教育委員会にて案を提出し、今まで通り20歳を迎えられた方を対象に実施する方針となりました。理由としては、進学や就職の選択時期と重なり、参加したくても参加できない方が出てくると想定される、飲酒及び喫煙の等の法律の年齢制限は、変わらないため義務を負うことのできる年齢を節目とすることが適当、1年に3学年分の実施となると式典の運営に支障が生じる恐れがあるという3点です。成人式という名称を用いず、ふさわしい名称で20歳のタイミングでお祝いしたいと考えております。</p>
6 その他	
前田室長	・「社会教育の底力」ポロシャツ等の申し込みについて(資料P.26)
松尾室長	12月15日に人権フェスティバル2020を開催します。新型コロナウイルス感染症対策として、色々な工夫をして実施します。3町人権尊重宣言をさせていただき、今後自治体や事業所へも周知していきます。
7 閉会	以上で閉会。
閉会時間	午前11時50分